

市イメージアップのため清掃活動

志佐町婦人会

志佐町婦人会が5月22日、松浦バイパスの松浦大橋付近を清掃しました。

地域のために奉仕活動をしようと、初めて清掃を実施。同バイパスは観光バスなどの通行も多いことから、松浦市の印象を少しでも良くしようと思ったものです。

この日参加した会員25人は、約2時間かけて草刈り機で草を払ったり、草取りやごみ拾いをしたりしました。



人命救助表彰

山下 與範さん

山下與範さん（星鹿・青島、51）と東京都の番組制作会社カメラマン、安増哲志さん（40）が5月24日、松浦市消防本部から人命救助をしたとして表彰されました。

4月23日の夕方、星鹿町青島港で誤って海に転落した地元の保育園児を、安増さんが近くにあった係留用のロープを岸から園児に投げつけてつかまらせ、山下さんが岸壁につるしてあったはしご代わりにタイヤを伝って下り救助しました。

表彰式で、表彰状と盾を受け取った山下さんは「近くに大人がいて良かったです。日ごろから大人が子どもを見守る大切さを感じました」と話していました。



まちの話題

Matsuura City Topics

福岡Yahoo! JAPAN ドームで松浦市をPR

松浦市福岡都市圏交流促進事業

本市が冠スポンサーとなったプロ野球福岡ソフトバンクホークス対広島東洋カープ戦が5月22日、ヤフードームで開催されました。

これは市のPRを行い、福岡都市圏などから多くの来訪者を呼び込むことなどを目的とした「福岡都市圏交流促進事業」の一環として実施。「鷹」つながりでパートナー契約を結んでいる福岡ソフトバンクホークスを市のPRの媒体として活用しようとするものです。

この日は、本市から約400人のツアー客が観戦。松浦よかこ大使の小船裕紀子さん（御厨・中野）と松浦福島つばき娘の前田真利さん（福島・端）が両チームに花束を贈呈しました。また、市内の子どもたちもグラウンドでホークスの選手と触れ合ったり、木寺一記君（福島小6年）が始球式をしたりしてプロ野球選手との交流を楽しみました。

ドーム内では、ホークスビジョンでの松浦市PR映像の放映や観光PRブースの設置などで松浦市のPRをしました。試合はホークスが勝利し、市協賛の花火が上がりました。



きちんと交通ルール守れたよ！

三世代交流交通安全教室

三世代交流交通安全教室が5月29日、福島町の伊万里釜会館とその周囲の道路で開催されました。

三世代が交流しながら交通ルールを学んでもらおうと、松浦地区交通安全協会福島支部（本川浩二支部長）が主催したものです。この日参加したひかりヶ丘保育園園児とその保護者、福島町老人会など約70人は、松浦警察署や交通安全協会からの講話を聞いた後、3～4人1組になって、約1キロのコースに出発。横断歩道などを通り、途中にある交通安全クイズを解きながら、楽しく交通ルールを学びました。



市内各地で光の乱舞

ホテル鑑賞会

5月下旬から6月中旬にかけて、市内各地で多くのホテルが飛び交いました。

5月29日には、田代地区グリーン・ツーリズム研究会（岩木保徳会長）が、御厨町木場地区を流れる木場川

でホテル鑑賞会を開催。田代小学校児童や地域住民など約50人が参加し、岩木さんからホテルの種類や雌雄の見分け方、生態系を守ることの大切さなどを教わりました。



ヒヤリ・ハット地図を作って交通安全

御厨公民館出前講座

御厨町池田地区住民が5月27日、御厨公民館出前講座を利用して松浦警察署林田交通課長と交通指導員2人を講師に招き、ヒヤリ・ハット地図を作成しました。

この日は、同地区住民約30人が参加。地区内で歩行中や車などの運転中にヒヤリ・ハットとした場所などを指摘し、地図上にそれぞれの立場で色分けしてシールを貼りました。その後、シールを貼った地図を基に「見通しが悪い」「道幅が狭い」などの多くの意見を出し合い、危険箇所を確認しました。同地図は、警察署で写真や注意内容を書き入れた後、同公民館に掲示したり、各家庭に配布したりして交通安全を呼び掛けます。



松高生が駅名標を制作

松浦高校美術部

松浦高校（北浦剛資校長）美術部が、松浦鉄道（MR）松浦駅の駅名標をリニューアルし、5月28日に同駅で設置式が行われました。

MR開業時に設置された同駅名標は、約22年が経過し、文字が薄くなっていたり、汚れや傷が目立ったりしていたことから、MRが同校にリニューアルを依頼したものです。3枚の駅名標は、縦0.9メートル、横1.2メートルの鉄板製で、市の特産のメロンや松浦党の旗などを持った松浦松之介が描かれています。

同部部長黒岩真亜子さんは「完成してとてもうれしいです。普段できない経験ができ、いい思い出になりました」と話していました。

